

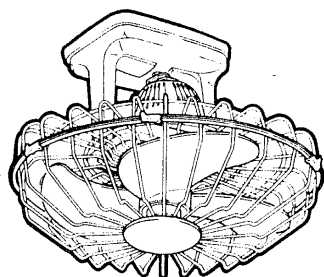
東芝旋回扇

形 名

JF-401

取付・取扱説明書

取付工事終了後は必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。



も く じ

	ページ
安全のために必ず守ること……………	1～2
各部のなまえと本体の組立てかた……………	3
※取付け前の準備……………	4
※取付けかたと結線のしかた……………	5～6
※取付け後の確認と試運転……………	7～8
使いかた……………	7～8
お手入れと保管……………	9
修理を依頼される前に……………	10
修理サービス……………	10
仕様……………	11

※印 販売店・工事店用

- 取付工事はお買上げの販売店、または工事店に依頼してください。
(お客さまご自身での工事は、故障や事故の原因になります)



お読みになった
後は、お使いになる
方がいつでも見ら
れるところに同封
のお客さま相談窓口
一覧表とともに保管
してください。

ご使用の前に「安全のために必ず守ること」
を必ずお読みになり、正しく安全にお使いく
ださい。

※保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を
確かめて販売店からお受け取りください。

安全のために必ず守ること

この巡回扇は人が涼をとるためのものです。この説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠ 警告、⚠ 注意の表示で区分して説明しています。

●表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁

止



分解禁止



水場での使用禁止



接触禁止



指示に従い必ず行う



警告



●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人に行わないでください。
(火災・感電・けがの原因となります)
修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。



●水につけたり、水をかけたりしないでください。
(ショート・感電の恐れがあります)



●羽根・ガードをつけずにモータを運転しないでください。
(けがやモータの発煙・発火の恐れがあります)



●製品の組立てや取付けは取付・取扱説明書に従って行い、各部品を確実に締め付けてください。
(落下してけがをする恐れがあります)

●本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止してください。
(落下してけがをする恐れがあります)

●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。また、ぬれた手で操作しないでください。
(感電やけがをすることがあります)

●包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管してください。
(誤ってかぶったとき窒息し、死亡する恐れがあります)

⚠ 注意

●交流100V以外では使用しないでください。
(火災・感電の原因となります)

●1台の速度調節器に2台の旋回扇をつながないでください。
(速度調節器の発煙・発火の恐れがあります)

●壁面、床面やかたむいた天井面には取付けしないでください。
(首振部分の故障の恐れがあります)

●つぎのようなところでは使わないでください。

- ・有機溶剤を使用しているところ
 - ・機械加工工場など油の付きやすいところ
 - ・温室、ビニールハウスなど湿度の高い場所
 - ・雨や水しぶきのかかるところ
 - ・40℃以上の高温になるところ
 - ・ガスレンジなど炎の近く
 - ・綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ
 - ・常に10℃以下になる低温な場所
- (感電や火災の恐れがあります)

●本体や速度調節器などにぶらさがらないでください。
(落下によりけがをする恐れがあります)

●風を長時間、からだにあてないでください。
(健康を害することがあります)

●ガードにハンガーや衣類などを掛けしないでください。
(本体やガードが落下し、けがの恐れがあります)

●包装箱を引きずらないでください。
(床に傷が付く恐れがあります)

●ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。
(けがをする恐れがあります)

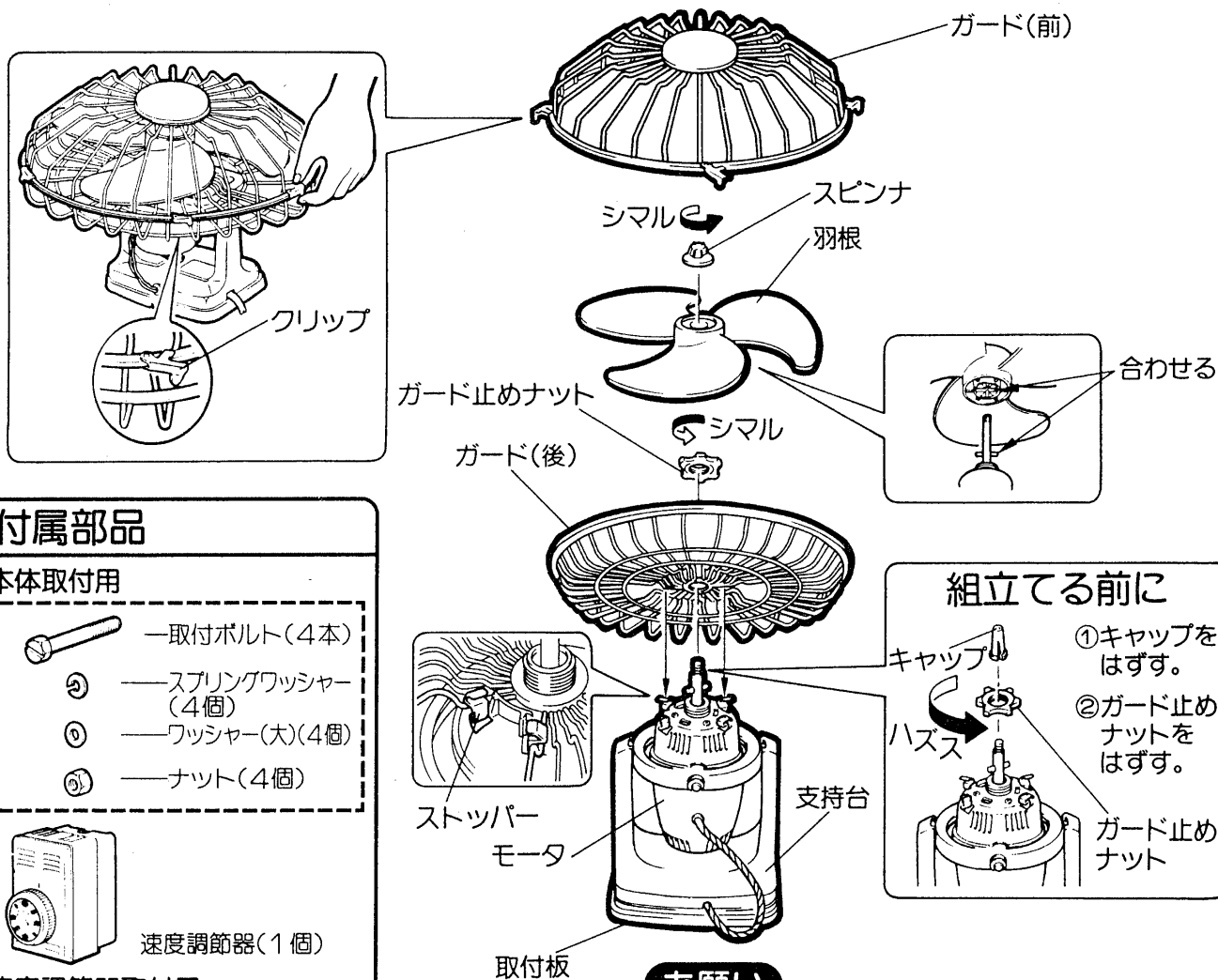
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

●本体の取付けは50kgの荷重に耐えられるところを選んでください。
(落下によりけがをする恐れがあります)

●本体の取付けのとき、支持台と取付板を取付ける止めネジはしっかりと締付けてください。
(締付け忘れは本体が落下し、けがをする恐れがあります)

●お手入れのときは安定した台などを用意して行ってください。
(転倒し、けがをする恐れがあります)

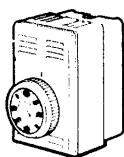
各部のなまえと本体の組立てかた



付属部品

本体取付用

- 取付ボルト(4本)
- スプリングワッシャー(4個)
- ワッシャー(大)(4個)
- ナット(4個)



速度調節器(1個)

速度調節器取付用

- ワッシャー(小)(4個)
- 木ネジ(4本)

組立てる前に

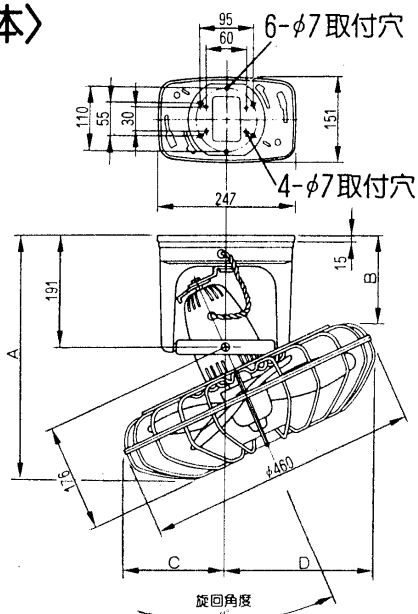
- ① キャップをはずす。
- ② ガード止めナットをはずす。

お願い

- ガード止めナットとスピナはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締付けてください。

外形寸法図

〈本体〉



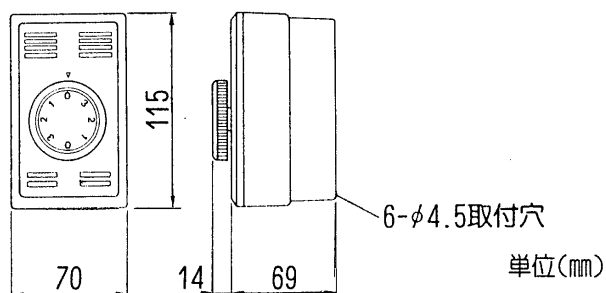
単位(mm)

■変化寸法表

単位(mm)

旋回角度θ°	A	B	C	D
0	371	229	230	230
30	391	182	196	249
60	418	132	154	254

〈速度調節器〉

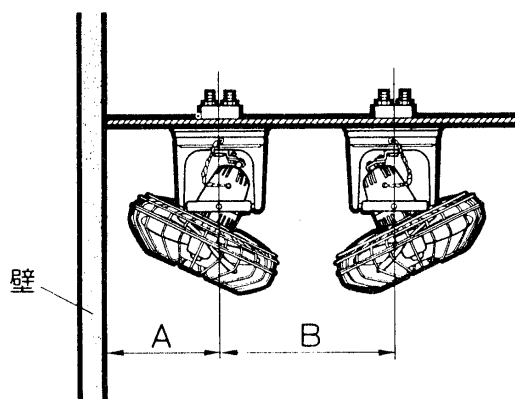


単位(mm)

取付け前の準備

取付位置

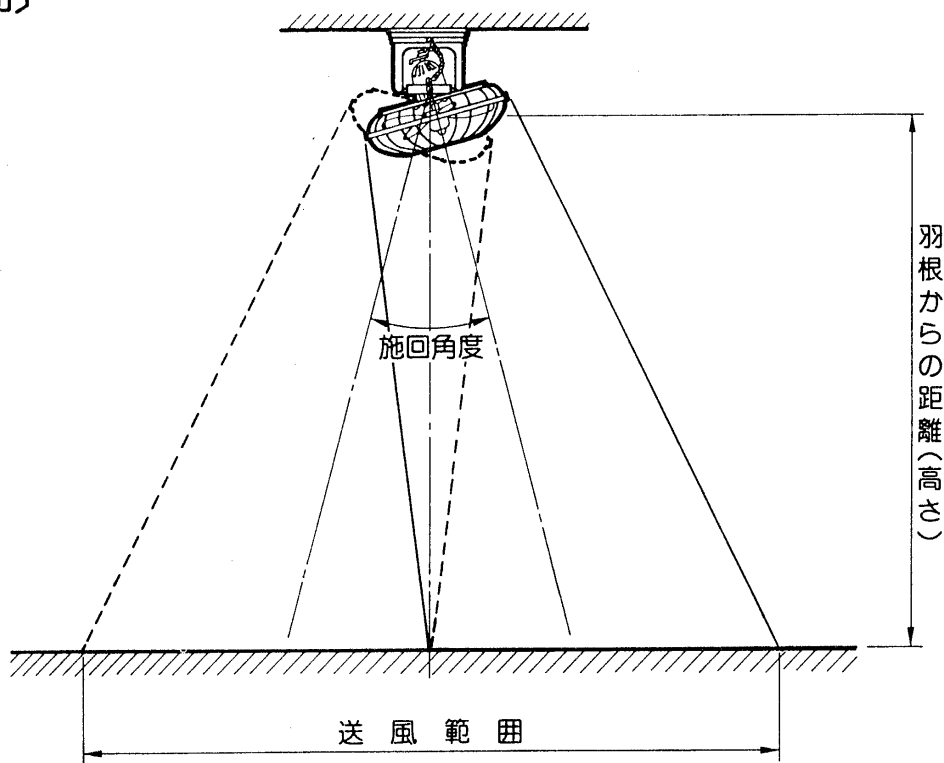
- 旋回扇を2台以上取付ける場合、または近くに壁面など障害物がある場合は下表の寸法を守ってください。近づけすぎると、旋回したときに壁や隣の旋回扇に当たり、故障の恐れがあります。



単位(m)

A	B
壁面との距離	隣の旋回扇との距離
0.35以上	0.6以上

〔送風範囲〕



単位(m)

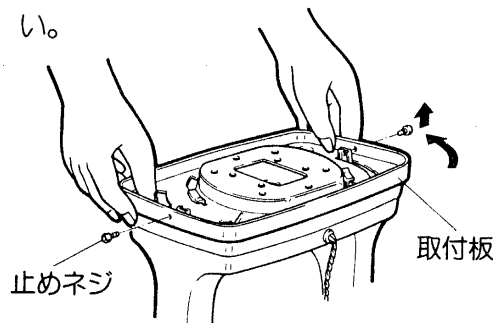
羽根からの 距離(高さ)	周波数	送 風 範 囲		
		旋回角度 0	旋回角度 30°	旋回角度 60°
2	50Hz	φ1.23	φ2.65	φ4.10
	60Hz	φ1.28	φ2.74	φ4.20
3	50Hz	φ1.93	φ4.25	φ5.60
	60Hz	φ1.95	φ4.40	φ5.80

※ 速度調節器の3(強)ノッチの場合を示す。

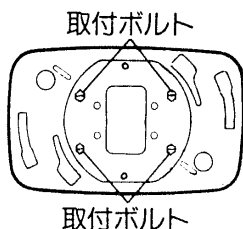
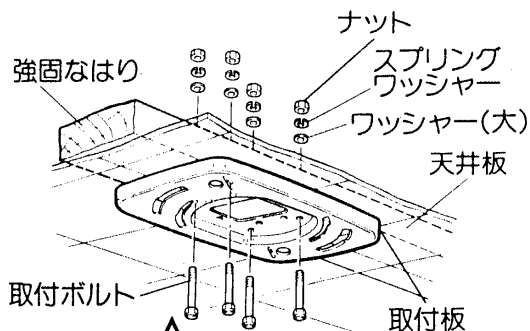
取付かたと結線のしかた 電気工事

1. 取付板の取付かた

- ①本体から取付板をはずします。
止めネジをなくさないようにしてください。



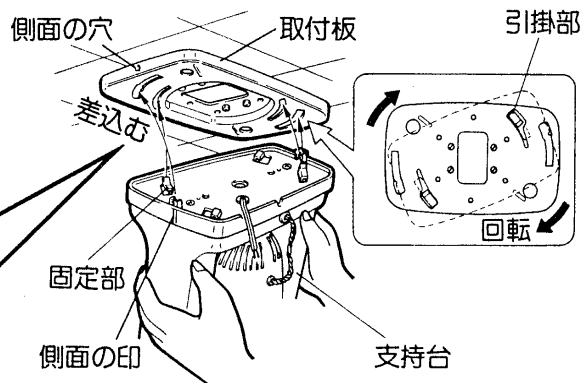
- ②取付板を付属の取付ボルト、ワッシャー（大）、スプリングワッシャー、ナット（各4個）で強固なはりなどに取付けます。



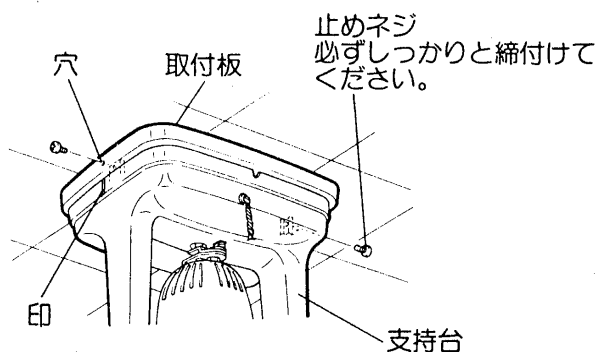
- 取付ボルトは左右対称となる位置で必ず4か所取付けます。

2. 本体の取付かた

- ①支持台の固定部、引掛部を取付板の穴に差し込み、時計方向に回転させて取付けます。
●取付板の側面の穴（左、右）と支持台の側面の印（左、右）が合うまで回転させてください。



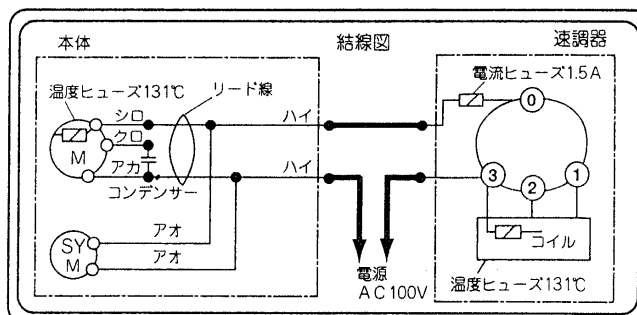
- ②取付板を取りはずした止めネジ（2本）で支持台と取付板を固定します。



〈結線図〉（結線図は、本体の底面にもあります。）

旋回扇本体と速度調節器を結線します。

- 太線部分が工事する箇所です。
- 電源は単相交流の100Vです。

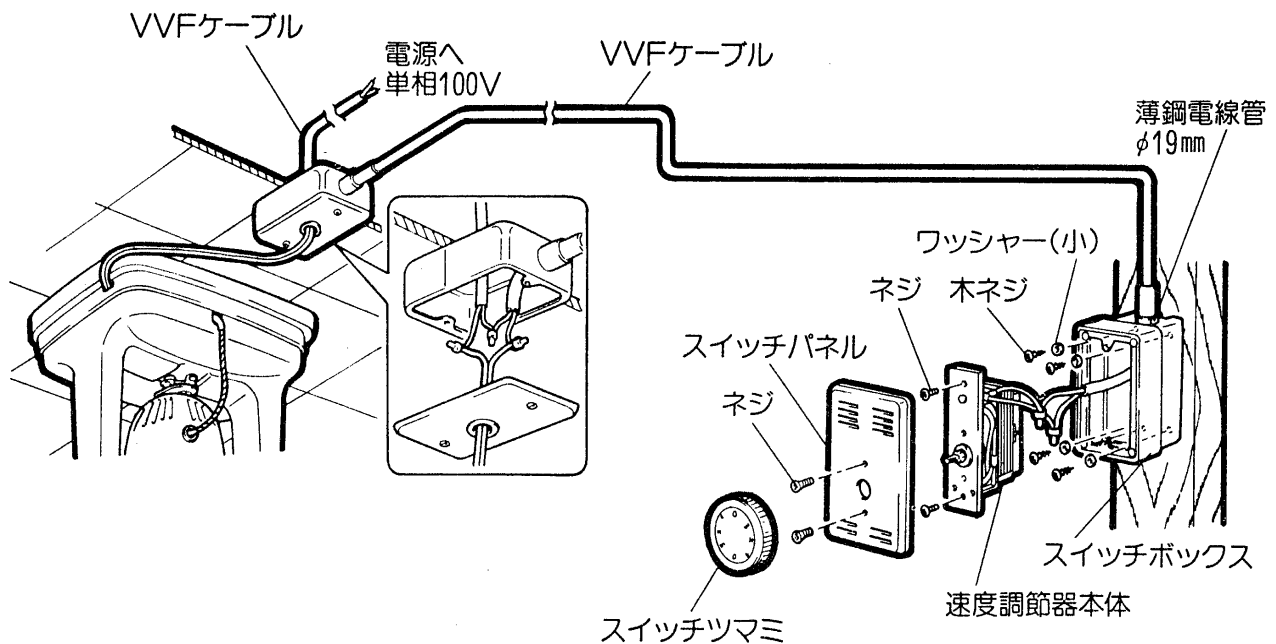


3. 速度調節器の取付けかたと結線のしかた

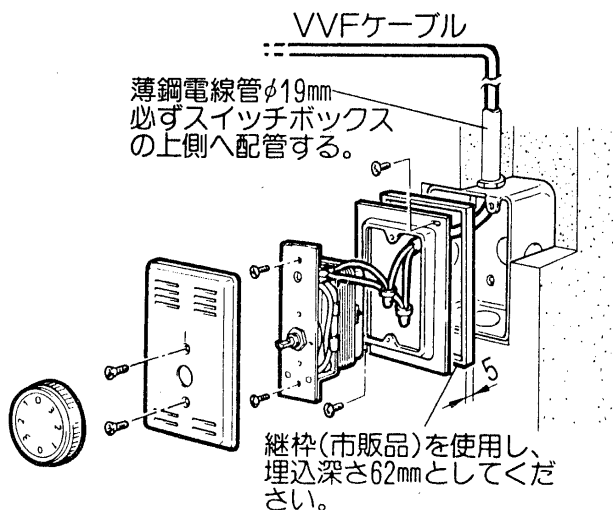
- ①速度調節器を下図のように分離し、スイッチボックスを付属の木ネジ(4本)、ワッシャー(小4個)で取付けます。
- ②左下の結線図により結線します。
- ③スイッチボックスの中に速度調節器本体を納め、スイッチパネル、スイッチツマミを取付けます。

お願い

- 学校などに取付ける場合はいたずら防止のため、速度調節器の取付け高さにご注意ください。



速度調節器を埋込みで取付けるには



- 1個用スイッチボックスでは、側面への配管は速度調節器本体と配管が当たるためできません。側面へ配管する場合は四角アウトレッドボックス(カバー付)を使用します。
(119×119×62…JIS C 8336)
※速度調節器から取りはずしたスイッチボックスは不要です。

取付け後の確認と試運転

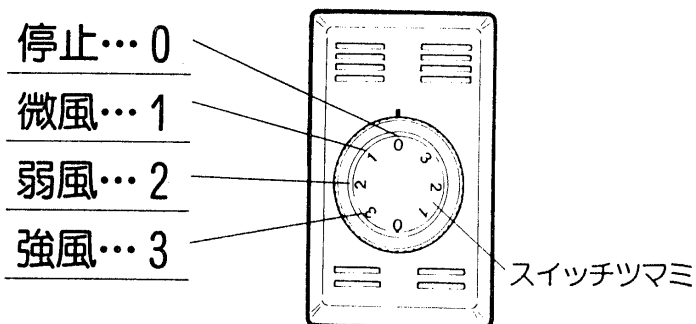
取付け後の確認

1. 支持台と取付板が止めネジ(2本)で確実に固定されていますか。
2. 電源は单相100Vか確認してください。
3. 旋回角度の調節をしてください。お客さまのご要望の旋回角度に調節してください。調節のしかたはつぎの「使いかた」に記載してあります。

使いかた

風量調節のしかた

速度調節器のスイッチつまミをお望みの数字に合わせてください。



下記の現象は故障ではありませんので、そのまま続けてご使用ください。

- 1(微風)、2(弱風)では使用中、速度調節器の表面が少しあたたかくなります。
- 速度調節器の中にはトランスが入っていますので、多少うなり音がすることがあります。

お 願 い

シーズンはじめおよびお手入れのときに「取付板」「支持台」「ガード止めナット」「スピナ」「クリップ」が正しく取付いてあるか確認してください。



ガード部分をビニール袋などでおおったままスイッチを入れないでください。



- ビニール袋を巻き込み、モーターが過熱し、発煙、発火の恐れがあります。

長期間使用しないときビニール袋などでガード部分をおおう場合、ビニール袋をガード内に押し込んだり、ガード部分にひもを掛けしないでください。



- 間違えてスイッチを入れたとき羽根がロックされ、モーターが過熱し、発煙、発火の恐れがあります。

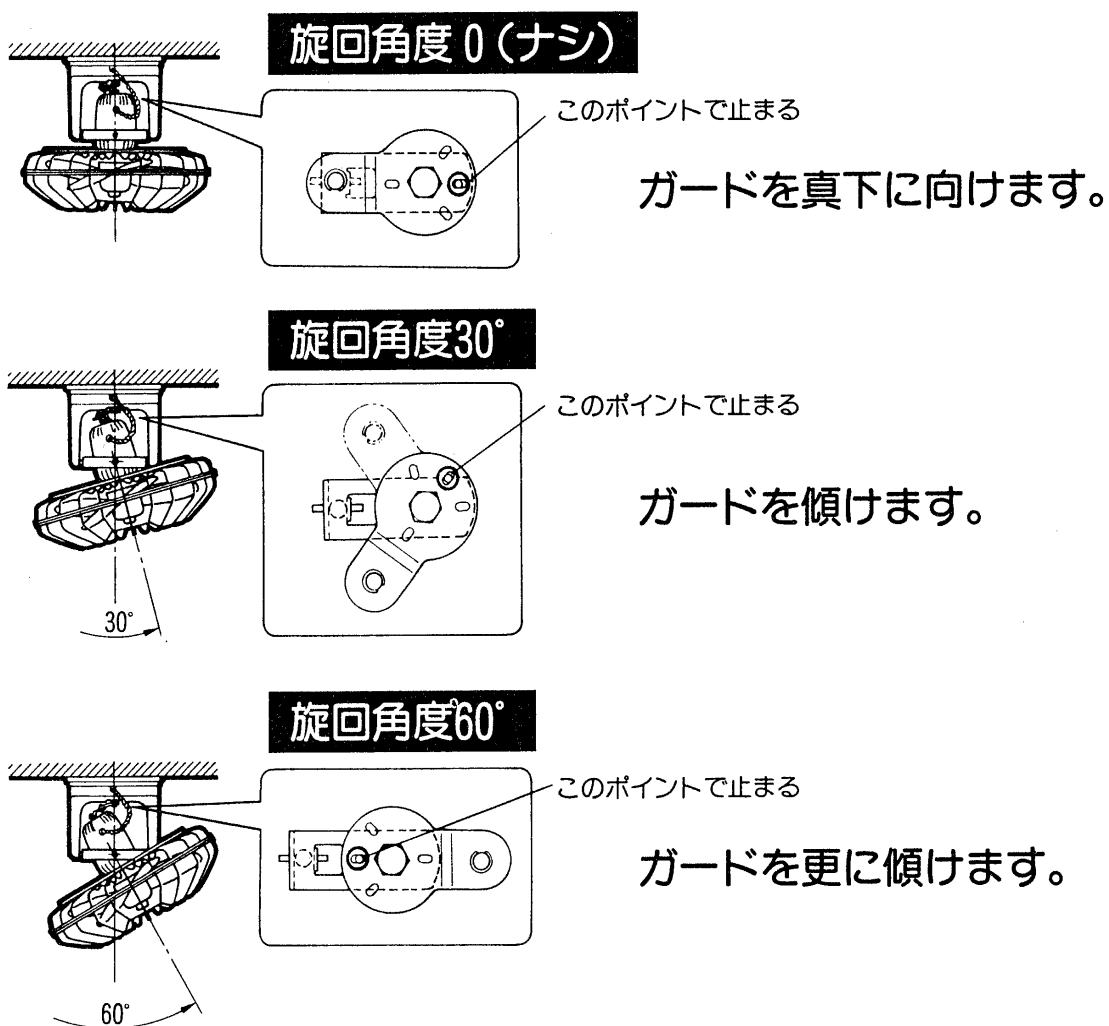
試運転

1. 速度調節器のスイッチつまみを回して風量が切換わるか確認してください。
2. 異常がないことが確認できましたら、スイッチを「0」にして運転を止めてください。

旋回角度の調節のしかた

旋回角度調節は、旋回角度 0 (旋回ナシ)・30°・60° の3段階に調節できます。

- 角度を調節する場合は安全のために安定した台を用意して、必ずスイッチを停止「0」にして、羽根の回転が止まってから行ってください。



お手入れと保管

⚠ 警告		●羽根・ガードをつけずにモータを運転しないでください。 (けがやモータの発煙、発火の恐れがあります)
		●水につけたり、水をかけたりしないでください。 (ショート・感電の恐れがあります)
		●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。 また、ぬれた手で操作しないでください。 (感電やけがをすることがあります)
⚠ 注意		●お手入れの際は安定した台を用意して行ってください。 (転倒し、けがをする恐れがあります)

〈お手入れ〉

羽根・モータにほこりが多量に付着しますと異常音・振動・モータの過熱の原因になります。組立てかたと逆の順序で分解し、清掃してください。

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取ってください。
- モータ表面のほこりは掃除機で吸い取ってください。
- 可動部分(モータ、羽根など)には油をさす必要がありません。

お願い

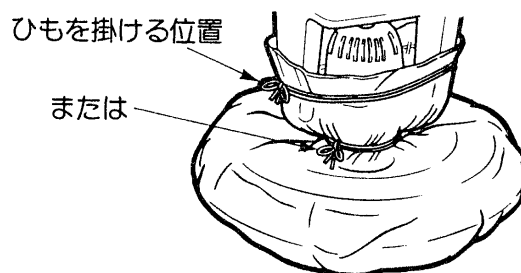
- お手入れには中性洗剤を使用してください。
(シンナー・アルコール・ベンジンなど使用しないでください。色があせたり、つやがなくなります)
- 危険防止のため、羽根にはり付けてある「羽根マーク」は取らないでください。
- スプレーをかけないでください。〈掃除用、殺虫剤、整髪用など〉
(破損・変質の原因となります)
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

〈保 管〉

長期間使用しないときにビニール袋などで製品をおおう場合は、右図の要領で実施してください。

お願い

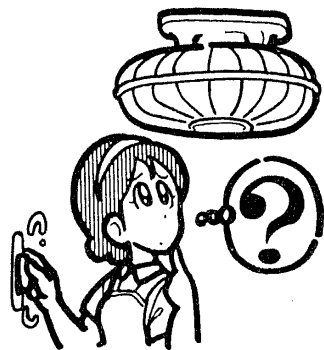
- ガードのすき間からビニール袋を押し込まないでください。
- ビニール袋でおおった後、ガード部分にひもを掛けしないでください。
間違えてスイッチを入れたとき、羽根がロックされ、モーターが過熱し、発煙、発火の恐れがあります。



修理を依頼される前に

このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても回転しない。



ブレーカーが切れていませんか？
ガードと羽根の間にボールなど物がはさまっていませんか？

運転中に異常音や振動がある。



羽根にガードが当たっていませんか？
スピナ・ガード止めナットが確実に締付てありますか？

直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。

費用などについては販売店とご相談ください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じた時は、電源を切ってお買上げの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なおご相談される時は機器の形名、およびお買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

(強風の場合)

形 名	電 圧 (V)	周 波 数 (Hz)	消費電力 (W)	最大風速 (m/min)	風 量 (m³/min)	首振り角度 (度)	質 量 (kg)
JF-401	100	50/60	51/63	280/290	77/78	0・30・60	5.1

お客さまへ

おぼえのために、ご購入年月日、製品形名、ご購入店名などを記入しておいてください。

お客さま メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形 名	JF-401
	お買上げ年月日	年 月 日
	お 買 上 げ 店 名 (住 所) (電話番号)	() _____

東芝ライテック株式会社

住宅機器事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル) TEL(03)5463-8778